

JLAT設備保全基準									
定期点検表									
					制定	2005/03/16	改定	2025/xx/xx	
基準番号		A2007	設備名称	リフトラー（手動式）					
型式：	500-ST								
性能：	最大積載量 500kg								
点検周期：			点検	点検年月日	年	月	日	点検者	サイン/押印
点検項目（周期）			点検方法、判定基準				判定		
1. 構造部分									
	a. マストレール (6M)			目視・触診にて異常あれば修理					
	b. スライドベース (6M)			目視・触診にて異常あれば調整・修理					
	c. フォーク（荷受部）(6M)			目視・触診にて異常あれば修理・交換					
				（先端部：10mm以上、左右ズレ：10mm以上）					
	d. 車輪（6M）			目視にて異常あれば修理・交換					
	e. フットブレーキ（6M）			目視・触診にて異常あれば修理・交換					
2. ウインチボックス									
	a. スパーギヤー（6M）			目視・触診にてギヤーの噛み具合を確認。歯車の異常は交換					
				油脂の状態を確認。必要があれば給脂					
	b. ラチェット、ポール（6M）			目視・触診にて、空ににして					
				空荷にしてクランクハンドルを左右に回転し、カタカタ音がすること。異常があれば修理・交換					
	c. ブレーキ板（6M）			★左回転 空荷でブレーキハンドルを最長にして勢いよく左回転し、時計の9時位置で手を放し、惰性で2回転以上しないこと。異常があれば修理・交換					
				★右回転 空荷でブレーキハンドルを最長にして勢いよく右回転して上昇させ、時計の9時位置で手を放し、半回転以上、逆回転しないこと。異常があれば修理・交換					
3. ワイヤロープ									
	a. 素線切れ（6M）			ウエスでワイヤー全体をなぞり、ささくれ（素線切れ）によりウエスに引っ掛かる場合は交換					
	b. キンク・変形（6M）			目視にてキンク、変形などの不良がある場合は交換					
	c. ワイヤーの油切れ（6M）			目視にて油切れの場合はグリースを塗布					
	d. ワイヤスリーブの変形			目視にて異常があれば交換					
備考（何かあれば以下に記入）									
点検完了後									
承認	承認者 (グループ長)	サイン／押印		承認年月日	年 月 日				
領収	領収者 ※	サイン／押印		領収年月日	年 月 日				